

【事業番号3】里地里山保全等促進事業費 事業概要シート

担当部名	環境農政部	事業名 (子事業名)	里地里山保全等促進事業費
担当課名	環境政策課	担当事業	厚木市里地里山保全等促進事業費
担当係名	環境共生係	根拠法令・例 規・要綱等	厚木市里地里山保全等促進条例
事業開始年度	平成14年度		厚木市里地里山活動団体交付金交付要綱
関連する事業 (子事業名)			
事業概要			
目的	里地里山の豊かな自然の恵みを次世代へ継承するため、市民、NPO、市民団体、企業、専門家、学校、行政などが相互に連携、協働し、里地里山の保全、再生及び活用の推進を図る。		
対象	農林業者、市民、NPO、市民団体、企業、専門家、学校、行政		
実施方法	里地里山活動団体が実施する保全活動に対して支援を行い、里地里山の新たな協働利用を促進する。		
事業詳細	<p>1 神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例に基づく里地里山活動の協定認定を受けている3団体について厚木市里地里山保全等促進補助金を交付する。 七沢里山づくりの会 443千円(県支出金) NPO法人 里山ネット・あつぎ 401千円(県支出金) 荻野三つ沢の里山を守る会 301千円(県支出金)</p> <p>2 厚木市里地里山活動団体交付金交付要綱に基づき、6団体に交付金を交付する。 七沢里山づくりの会 200千円(活動内容:稲作体験、炭焼き、畑整備など) NPO法人 里山ネット・あつぎ 200千円(活動内容:稲作体験、カボス栽培、竹林整備など) みどり清流のふるさと創造委員会 200千円(活動内容:ザル菊、蝦梅栽培、花まつり開催など) 荻野三つ沢の里山を守る会 200千円(活動内容:稲作体験、畑整備など) 荻野の美田を守る会 200千円(活動内容:アイガモ農法による稲作体験など) NPO法人 グリーン成長桜 200千円(活動内容:森林整備や植樹祭の開催など)</p> <p>3 企業、大学との連携例(平成27年度実績) ・七沢里山づくりの会で、ソニー㈱厚木テクノロジセンターの従業員が稲作、炭焼き体験を実施 ・NPO法人 里山ネット・あつぎで、東京農業大学の学生が竹林の整備活動を実施</p>		
事業の効果	従来2団体が保全活動を行っていたが、平成27年度から新たに4団体を認定し、里地里山活動協定の対象面積が約6ヘクタールになり、保全活動の拡大が図られた。(平成26年度調査で、重点地域内(荻野・小島・玉川地域)の遊休農地の面積は約29ヘクタール) 6団体が地域の現状に即した保全活動の推進を図るとともに、市民や企業、大学等との連携の促進が図られた。		
事業周知方法 ・内容	・広報あつぎ(5月1日号)へ掲載 ・市ホームページへ掲載		
事業の全体像(フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明)			
<pre> graph TD A[市] --> B[「里地里山」・・・集落と、その周辺にある農地・ため池・管理されている山や森林などからなる地域。] A --> C[里地里山保全等地域の選定と協定の締結促進] A --> D[里地里山活動団体の支援] B --> E[里地里山保全等促進委員会の運営 ・里地里山保全等促進計画の進行状況の点検、検証等] C --> E D --> E E --> F[里地里山の有する多面的機能の発揮及び次世代への継承を図る] </pre>			

代表的な事業指標	指標名	里地里山活動団体の数					
	指標の説明	認定した里地里山活動団体の数					
	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	目標	3	8	指標備考			
実績	6	平成26年度までは、2団体に事業を委託。(目標値の設定はなし)					
達成率	200.0%						
事業のコスト							
コスト	単位	平成26年度(決算)	平成27年度(決算見込み)	平成28年度(予算)			
	事業費	3,188	2,064	2,941			
	人件費	1,650	1,684				
総計	4,838	3,748					
人件費内訳	平成26年度人件費内訳(単位:千円)			平成27年度人件費内訳(単位:千円)			
	行政職1	@ 8,251 × 0.20 人 = 1,650	行政職1	@ 8,421 × 0.20 人 = 1,684	行政職2	@ 8,304 × 人 = 0	
	行政職2	@ 8,054 × 人 = 0		消防職	@ 8,672 × 人 = 0	再任用	@ 3,514 × 人 = 0
	消防職	@ 8,540 × 人 = 0		再任用	@ 3,514 × 人 = 0	臨時職員	@ 1,186 × 人 = 0
	再任用	@ 3,455 × 人 = 0		臨時職員	@ 1,186 × 人 = 0	その他	× 人 = 0
	臨時職員	@ 1,190 × 人 = 0		その他	× 人 = 0		
	その他	× 人 = 0					
事業費及び財源内訳(千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他	
	H26(決算)	3,188	2,713	475			
	H27(決算見込み)	2,064	1,297	767			
H28(予算)	2,941	1,796	1,145				
事業費内訳	【平成28年度予算の内訳】 報酬 191千円(委員長報酬8,800円×1人×3回、委員報酬7,800円×7人×3回) 需用費 5千円(会議等飲料代) 補助及び交付金 2,745千円(補助金3団体計1,145千円、交付金200千円×8団体)						
①市民要望 ②社会的要請 ③課題	①農林業者の高齢化や後継者不足、産業構造や人々の生活の変化などにより、里地里山の多面的機能が低下していることから、里地里山の保全が求められている。市が実施している市民満足度調査でも、79.8%の市民が、自然環境の保全と活用が重要であると回答している。 ②有害鳥獣や外来種の侵入、里地里山の管理不足により、多くの生きものの生息・生育環境が失われるなど、里地里山の質の低下を招いている。 ③農林業者の高齢化や保全活動に係る担い手不足のほか、保全活動の主体となって行っている団体のメンバーの高齢化が進んでいる。						
上記課題等への対応や見直しの方向性	里地里山の保全活動団体の会員拡充と、企業ボランティアや市民ボランティア等の継続的な参加が必要である。						
見直しの有無	有						
直近3か年以内の事業見直しの有無とその内容	平成26年度までは里山保全の事業を2団体に委託していたが、県の補助制度の活用や市の交付金を交付することで各団体の多様な自主的な活動を支援するようになった。 H25年度 2団体:委託料 645千円(一般財源) 1団体:補助金475千円(県支出金) H26年度 2団体:委託料 645千円(一般財源) 1団体:補助金475千円(県支出金) H27年度 6団体:交付金 1,200千円(一般財源) 2団体:補助金767千円(県支出金)						

里地里山保全等促進事業



1

環境政策課

里地里山とは

里地里山は、農林業など人と自然が長きに渡り関係し形成されてきた自然環境です。また、多様な生物の生息環境として、地域特有の景観や伝統文化の基盤として、重要な地域です。

農地

水路

ため池

二次林等

里地里山の多面的機能

潤いや安らぎを
もたらす良好な景観

様々な生物が
生息

生活文化の
伝承

自然観察や
環境学習の場

2

県内屈指の里地里山があり 自然環境を有する厚木市



オオタカ(猛禽類)

オオタカは、食物連鎖の頂点に位置する動物で、生態系のバランスが良好に保たれている一つの指標になっている。



3

里地里山の課題

荒廃した森林、荒廃農地の顕在化

- 外来種の侵入
- 動植物の生息・生育環境の質の低下
- 野生鳥獣による影響
- 不法投棄
- 治水機能の低下・土砂災害など

4

市民共有の財産である 里地里山を保全するために

平成25年
12月

•「厚木市里地里山保全等促進条例」を制定

平成27年
3月

•「厚木市里地里山保全等促進計画」を策定

短期目標

•里地里山の保全活動の拠点づくりと定着を目指します

長期目標

•里地里山の多面的機能を次世代に継承し、心豊かな自然共生社会を目指します



5

厚木市里地里山保全等地域 & 認定活動団体

* 玉川、小鮎、荻野の3地域を
保全等地域に指定

* 地域内で活動する6団体を認定し
協定を締結



七沢里山づくりの会（玉川）

NPO法人 里山ネット・あつぎ（玉川）

みどり清流のふるさと創造委員会（小鮎）

荻野三つ沢の里山を守る会（荻野）

荻野の美田を守る会（荻野）

NPO法人 グリーン成長桜（荻野）



荻野・田植え

平成27年9月認定

7

各主体が連携、協力して保全

里地里山の保全及び活用を推進するためには、これまでのように農林業者や地域住民だけが活動するのではなく、都市住民、NPO、市民団体、企業、専門家、行政など多様な主体が参加、連携、協力することが大切です。多様な主体が交流、協働することで、新たな協働利用が促進されるとともに、様々な課題の解決や新たな地域づくり、生きがいづくりなど、副次的効果も期待できます。



6

認定活動団体の活動事例

稲作体験や薪割、炭焼き、棚田復元、竹林整備、生き物探し、しめ縄作りなど



8

